

産総研福井サイト開設2周年記念講演会 新たな事業創造に貢献する産総研の材料研究

産総研が顕著に産業界に貢献している技術分野の中から、「電池材料」と「表面処理技術(AD法)」をテーマにした講演会です。

両テーマとも、当該技術シーズ開発の主体となったシニア研究者と、最前線で研究を推し進める若手研究者のメッセージを組み合わせました。技術分野の全体像と、ホットな研究開発事情にご期待ください。

4月20日 金
13:30-16:20

福井県工業技術センター
C101 会議室 (研修棟 1階)

プログラム

- 13:30 主催者挨拶 産総研関西センター 所長 角口 勝彦
13:35 来賓ご挨拶 福井県工業技術センター 所長 強力 真一 様
13:40 「産総研における地域連携の取り組み」 産総研地域連携部次長 池上 敬一

第一部 電池材料 (次世代材料開発)

14:00 「車載用電池の開発状況と新材料技術への期待」

産総研関西センター 上席IC 境 哲男

世界的な環境規制への対応と、自動運転技術の実用化に向けて、自動車の電動化が急ピッチで進められています。車載用電池の生産量は、2025年には現在の6倍以上になることが予想されていますが、現状の電池では、エネルギー密度やサイクル寿命、急送充放電特性、低温特性、高温保存特性、安全性など改善すべき問題が山積みです。新材料開発による高性能化に大きな期待が寄せられる今、次世代車載用電池の開発に向けての、材料技術と電池技術の進展を紹介します。



14:40 「電池の更なる安心・安全・長寿化に向けて: 全固体電池の作製と評価」

産総研電池技術研究部門 主任研究員 倉谷 健太郎

スマートフォンやタブレットPCなどでおなじみの“リチウム二次電池”は、電気自動車のエネルギー源としても使われ、需要は増える一方です。私たちの生活に欠かせないデバイスとなった、このリチウム二次電池を、これまで以上に安心・安全かつ長寿命に使用していくために、全固体電池に注目が集まっています。全固体電池の高性能化に向けた研究開発の最前線を紹介いたします。



第二部 表面処理技術 (AD 法)

15:10 「常温セラミックコーティング AD 法によるプロセスイノベーション」

産総研先進コーティング研究センター 研究センター長 明渡 純

常温で強固かつ高密着なセラミックスコーティングができるAD法。さまざまな分野で製品性能の飛躍的向上が見込まれ、新規製品開発への活用の要望は高まる一方です。TOTO (株) が半導体製造装置部材に活用した事業化事例で「ものづくり日本大賞 (内閣総理大臣賞)」を受賞したことは有名ですが、そのほかにも多数の企業との連携が進んでいます。AD法を活用した実用化事例や研究開発の世界的動向を紹介していきます。



15:50 「福井県における AD 法の取り組みと県内企業への技術開発支援」

福井県工業技術センター新産業創出研究部 研究員 竹内 雅則

福井県工業技術センターでは、産総研開発のAD法を使った事業化に向けた共同研究を進めています。成膜装置の作製や成膜条件の評価検討などを通じて行う、県内企業への新しいコーティング技術の普及の取り組みを紹介します。また、福井県の特色あるAD法の活用や、表面処理の評価技術・評価機器等についても紹介します。



主催：産業技術総合研究所
共催：福井県、(公財) ふくい産業支援センター
後援：ふくいオープンイノベーション推進機構

問い合わせ先：
産業技術総合研究所福井サイト (福井県工業技術センター内)
E-mail: fukui-site-ics-ml@aist.go.jp
TEL 0776-55-0152